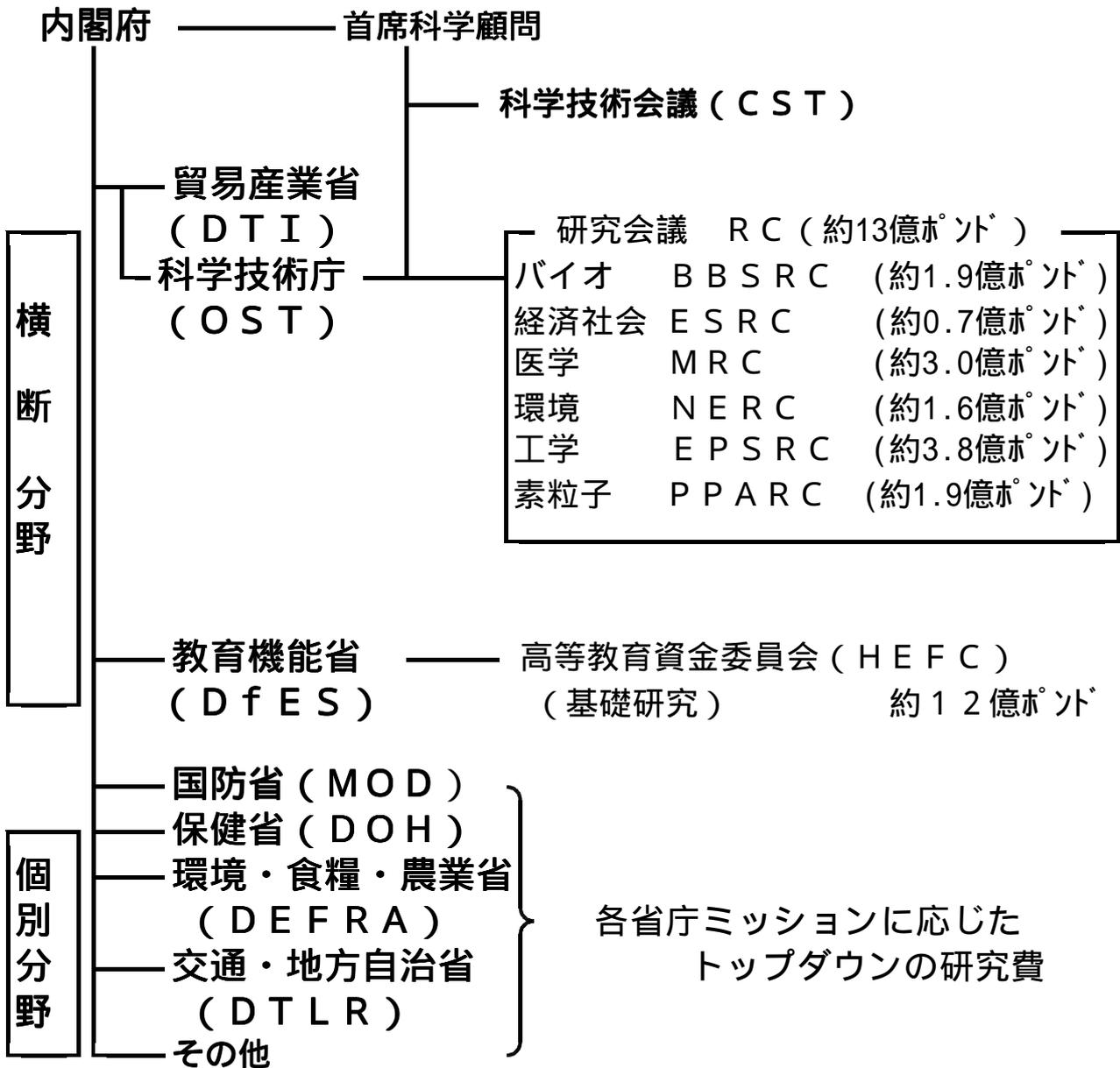


英国の競争的資金制度

英国における主な研究助成機関



英国においては、特定省庁の政策目的に属さない研究に対しては、研究会議(Research Councils)という政府から独立した機構を通じて高等教育機関や研究機関に研究資金が供給されている。また、特定省庁の政策目的のための研究に対しては、各省を通じて研究資金が供給されている。

資料：英国貿易産業省 Science, Engineering and Technology Statistics
金額は、1999-2000予算額

英国政府科学技術予算

(百万ポンド)

	Outturn 1998-99	1999-00	Estimated Outturn 2000-01
科学技術庁等及び傘下の研究会議 (A)	1,280	1,339	1,519
研究会議	1,239	1,286	1,365
科学技術庁等	41	52	153
高等教育資金委員会 (B)	1,085	1,157	1,309
科学技術基盤予算合計 (A + B)	2,365	2,496	2,827
各省庁民生科学技術予算 (C)	1,621	1,687	1,898
MAFF (農林水産省)	140	134	118
DfES (教育機能省)	104	124	133
DETR (環境運輸地域省)	132	138	154
DH (保健省)	463	473	481
うちNHS (国民保健サービス)	403	410	423
DSS (福祉省)	4	5	6
HSC (保険安全委員会)	19	17	18
HO (内務省)	21	28	39
DCMS (旧国家遺産省)	10	11	12
DTI (貿易産業省 (OSTを除く))	235	235	252
北アイルランド省	28	26	32
スコットランド省	68	103	104
ウェールズ省	20	19	21
その他	376	374	527
民生科学技術予算 (A + B + C)	3986	4182	4725
国防省 (D)	2096	2345	2033
合計 (A + B + C + D)	6082	6527	6758

注：2001年の省庁再編以前の旧省庁により集計

英国のグラントについて

<一般事項>

- ・英国では、研究グラントはOST(科学技術局)からRC(リサーチカウンシル)を通して資金が供給されている。
- ・RCは現在7つあり、それぞれ自立した組織となっており、OSTから予算が供給され、各分野の研究グラントを出している。CCLRC(研究会議中央研究所会議)だけは、外部に直接グラントは出しておらず、施設や専門的なサポートをユーザーに提供している。
- ・研究期間は、だいたい3年から5年までであり、3年程度であることが多い。特別な場合として10年のものもある。
- ・金額(研究期間が3年程度のものについて)は、最小で6万ポンド(約1,100万円)、最大で100万ポンド位(約1.8億円)であり、平均でおよそ20万ポンド(約3,700万円)である。
- ・採択率は、30%~40%位である。

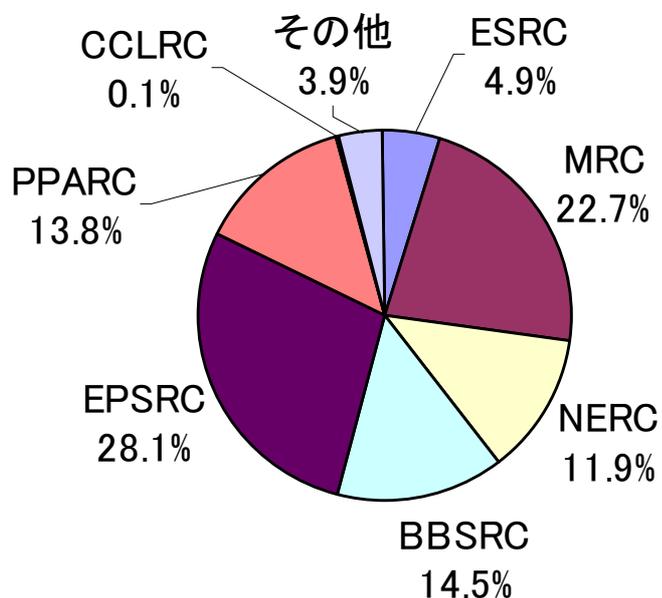
<RCの構成>

- ・経済・社会研究会議(ESRC)
- ・医学研究会議(MRC)
- ・自然環境研究会議(NERC)
- ・バイオテクノロジー・生物科学研究会議(BBSRC)
- ・工学・自然科学研究会議(EPSC)
- ・素粒子物理・天文学研究会議(PPARC)
- ・研究会議所属中央研究所(CCLRC)

<科学予算の内訳(1999-2000)>

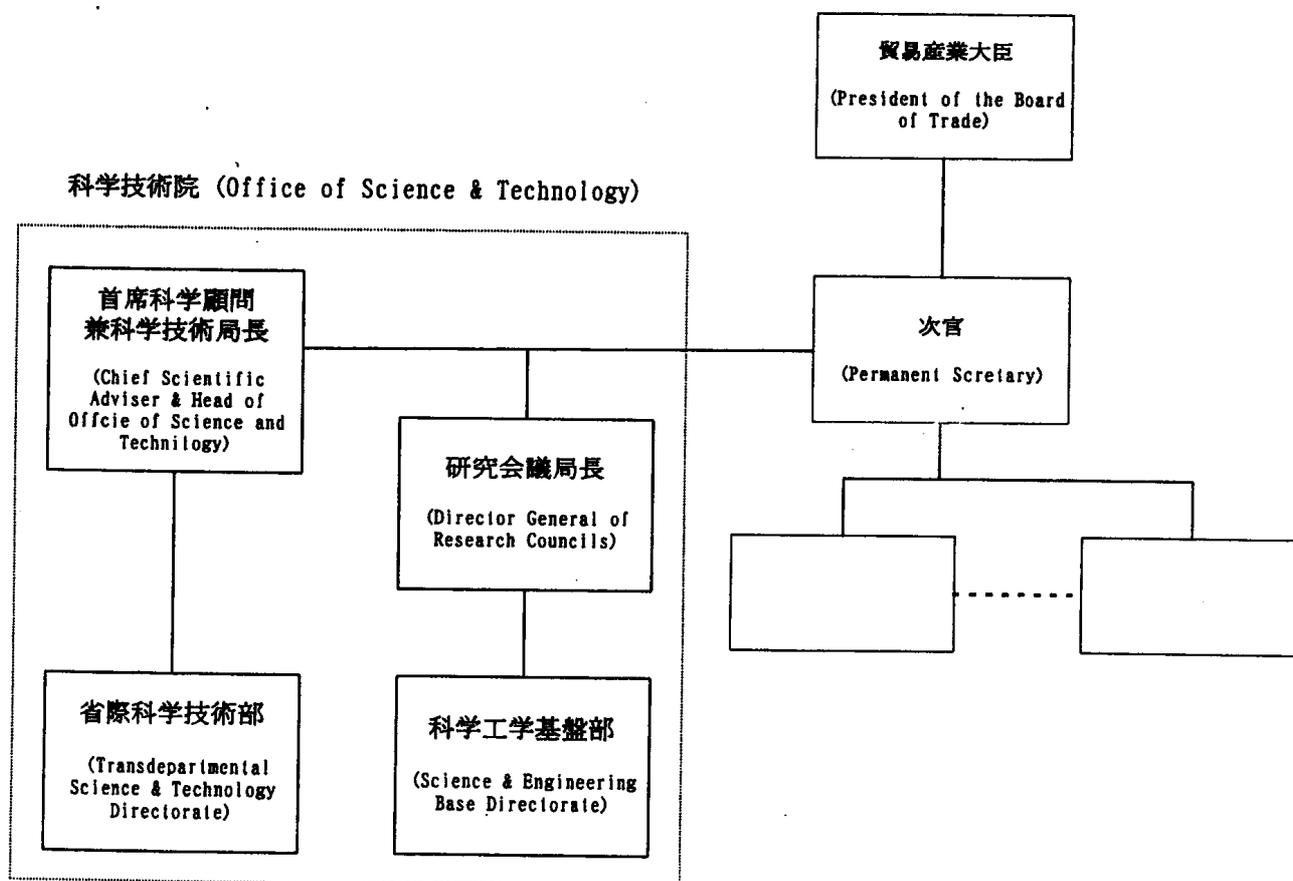
	予算額
ESRC	66.1
MRC	303.7
NERC	159.3
BBSRC	194.0
EPSC	375.7
PPARC	185.3
CCLRC	2.0
その他	52.4

(単位:百万ポンド)



(DTI SET Statisticsより)

(参考)



OSTの組織図 (「DTI Organisation Chart」より)

各研究会議の資源配分先

バイオテクノロジー・生物化学研究会議（BBSRC）

分野 生物学等
研究会議の想定されるユーザーまたは受益者
農業、食料、バイオテクノロジー、医薬品、化学及びヘル
スケア産業、並びに大学及び同種の政府省庁

- ・耕地作物研究所 ・家畜衛生研究所 ・食品研究所
- ・草地・環境研究所 ・バブラハム研究所
- ・ジョンイネスセンター ・ロスリン研究所
- ・シルソー研究所

経済・社会研究会議（ESRC）

分野 社会科学等
研究会議の想定されるユーザーまたは受益者
産業、慈善協会、大学、地域機関・その他の公共団体、政府
省庁及び独立の政策団体

工学・自然科学研究会議（EPSRC）

分野 工学及び自然科学（化学、物理、数学）
研究会議の想定されるユーザーまたは受益者
工学、プロセス、建設、化学、情報技術、電子工学及び電気
・通信の産業、並びに大学及び同種の政府省庁

医学研究協議会（MRC）

分野 健康維持・増進を目的とする生物学、医学等
研究会議の想定されるユーザーまたは受益者
健康サービス・ヘルスケアの提供者、医療機器、医薬品、バ
イオテクノロジー及び食品の産業、並びに大学及び同種の政
府省庁

- ・国立医学研究所 ・臨床科学センター
- ・分子生物研究所 ・サンガーセンター

自然環境研究会議（NERC）

分野 陸上・海洋及び淡水の生物学、地球・大気・水理・海洋・極地の科学、地球観測等

研究会議の想定されるユーザーまたは受益者

水・建設・プロセス・炭水化物・鉱物・森林・農業・漁業及びリモートセンシングの産業並びに自然保護・その他の規制機関・大学及び同種の政府省庁

- ・サウザンプトン海洋センター
- ・国立地質調査所
- ・沿岸海洋科学センター
- ・極地研究所
- ・生態学・水理学センター

素粒子物理・天文学研究会議（PPARC）

分野 天文学、惑星科学、素粒子物理等

研究会議の想定されるユーザーまたは受益者

電子工学及び通信の産業、並びに大学

- ・グリニッジ天文台
- ・ハワイ天文学共同センター
- ・エンジンバラ天文台
- ・アイザックニュートン天文台

中央研究所研究会議（CCLRC）

分野 横断的・大型研究施設

ラザフォードアップルトン研究所 ダーズベリー研究所

イギリスの間接経費

イギリスの間接経費は、直接経費のうちの人件費（ただし、常勤研究員の給料は除く）に対して一律46%。

<イギリスの間接経費の概要>

- イギリスの競争的資金は、OST(科学技術庁)傘下の分野別の7つのリサーチカウンシルから、主に配分。
- 競争的資金は、研究プログラムに直接関係する直接経費(direct cost)の他に、研究をサポートするために中央や部門が必要とする経費として間接経費(indirect cost)が含まれる。
- 間接経費の額は、直接経費のうちスタッフコストに対して一律46%と、OSTによって決められている。
(直接経費のうちスタッフコストの占める割合は、各リサーチカウンシルの平均で約6割であり、間接経費の直接経費全体に対する割合は約3割)

<各経費の内訳>

直接経費(direct costs)

- 人件費－研究スタッフや支援スタッフの経費。常勤研究員(permanent staff)の給料は含まれない
- 設備
- 旅費
- 消耗品 等

間接経費(indirect costs)

- 会計、人事管理などの事務経費
- 共通図書館の経費
- スタッフの福利厚生費
- その他部局に共通的な経費で当該研究に関連があるもの 等

競争的資金を使用できない経費(inadmissible costs)

- 常勤研究員の給料
- 施設費(建設費、土地購入費、改修費等)
- 光熱費 等

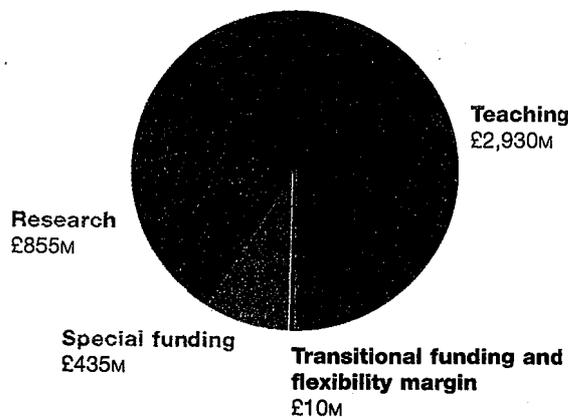
イギリスの基盤的経費の配分

HEFC(高等教育資金委員会)から大学に配分される資金は、教育分と研究分を分けて積算して支給されている。

<HEFC(高等教育資金委員会)>

- HEFCEは、高等教育機関に資金を供給。主に、teaching fund (教育)、research funding (研究)、special fundingから構成されている。
- 教育分は、学生数に比例して配分されているが、研究分は、研究の質で重み付けして配分されている。(金額は、下図参照)

Figure 1 Breakdown of HEFCE funding in 1999-2000 - total £4,230M



- teaching fundの計算の概要は以下のとおり、
 1. 学生数を基本とし、科目、学生の種類、地域を考慮して、標準額を計算。
 2. 前年実績にインフレ率等を掛けて、現実額を計算。
 3. 標準額と現実額を比較。
 4. もし、5パーセント以上乖離していた場合、グラントの額及び学生数を調整して、5%以内に収まるようにする。

- research fundの計算の概要は以下のとおり。
 1. 研究者数 (active academic staff)を基本に、Amount (量) を計算。
 2. RAE (Research Assessment Exercise)により研究の質 (quality)を評価し重み付け。(RAEの評点と資金配分額の関係は、下表参照)
 3. 金額は、(量) × (質) で決定。

RAE ratings converted into funding weights for each unit of assessment

1996 research rating	Funding weights in QR model
1	0
2	0
3b	1
3a	1.5
4	2.25
5	3.375
5*	4.05

英国の競争的資金の評価について

- バイオテクノロジー・生物科学研究会議(BBSRC)の例を中心にして -

研究会議のグラントは、傘下にある6つの会議からそれぞれ独立に配分されている。グラントの研究期間は、概ね3～5年であり、3年間の課題が主である。研究期間が3年程度のものは、約6万ポンド～100万ポンド、平均でおよそ20万ポンドである。また、採択率は30～40%である。

研究会議が所管するバイオテクノロジー・生物科学研究会議(BBSRC)の研究者の自由提案に任せるタイプのグラント(responsive research mode)の評価の概要は以下の通りである。

1. 事前評価

(1) 研究申請書

- ・ 研究申請書は年3回受理される。一回あたりの申請は、約400件。採択率は40%程度。
- ・ 申請者は、提出する申請書の評価者として2名の候補を推薦することができる。
- ・ プログラムマネージャーが、BBSRC内の評価者のデータベースを活用して申請書毎に適切な評価者を決める。

(2) 一次評価

- ・ 評価者は、次のような基準で評価を行うことが報告されている。
 - 科学的優秀性
 - 研究会議の戦略との関連性
 - 経済的繁栄と生活の質の向上への貢献
 - 時期の的確さ
 - 費用対効果の高さ
- ・ 少なくとも2名以上の評価者(望ましくは4名以上)により、4段階(outstanding、competitive、non-competitive、reject)で評価し、コメントを付ける。
- ・ 2名以上の評価者からnon-competitiveあるいはrejectと評価された場合は、1名以上がoutstandingあるいは2名以上がcompetitiveとしなければ不適格となる。
- ・ 一次評価における評価結果及びコメントは、申請者へ開示される。申

請者は評価者のコメントに対して回答をすることができ、この回答も二次評価に提出される。

(3) 二次評価

- ・ 一次評価結果を通過した申請書を、一次評価の結果を基に、評価委員会において研究会議の方針及び委員会の優先順位に基づいて評点が付けられる。
- ・ 評価結果は、評点のみが申請者に開示される。

(4) 採択課題の決定

- ・ 評点の上位から配分される。

2 . 中間評価

BBSRCは、全ての研究開発課題に対して進行管理を行う権利を有し、評価委員会にて評価を行う。評価は、決まった時期ではなく、評価委員会が適切な時期を決める。

3 . 事後評価

(1) 研究成果の提出義務

研究者は、研究助成終了後、3ヶ月以内に所定の様式により成果報告書を提出することが義務づけられている。

(2) 成果の評価

- ・ 成果報告書は評価委員会にて次の5段階で評価が行われる。
- ・ この評価結果は、データベースに収録されることとなっており、将来のグラントの獲得における評価に影響を与える場合がある。
- ・ 評価コメントは、研究者に通知される。

成果報告書の評点と定義

評点	定義
5	かなり科学的に重要な成果を優れた経費効率方法で生み出した非常に高度な研究
4	所期の目的に適合し、かつその分野で十分な知識を付加し得た研究
3	関連した目的に適合し、かつその分野で十分な知識を付加し得た研究
2	申請書において期待された知識への貢献及びコスト効率が不足した研究
1	目的に言及できず、その分野の十分な知識付加ができなかった研究